

広島の研究者とジャーナリストが書き下ろす、「平和都市」ヒロシマの現在位置

注文締切

8月20日

発売日

9月上旬

「平和都市」 ヒロシマのまがりかど

—広島市平和推進基本条例の制定過程を検証する—

著者

●本体価格:1700円 ●四六判並製:230P ●ISBN:978-4-908443-91-6

平岡 敬 (元広島市長)

宮崎 園子

田村 和之

金子 哲夫

本田 博利

向井 均

橋本 和正

渡部 久仁子

湯浅 正恵

ロシアに抗議しても、イスラエルには抗議しない。

『はだしのゲン』を小学校の平和学習教材から削除し、第五福竜丸がアメリカの核実験で被爆した記述も消えた。広島選出の岸田首相が議長を務めた広島開催のG7サミットで核抑止論を肯定した。

「平和都市」ヒロシマで何が起きているのか、その転換点は2021年に成立した、広島市平和推進基本条例だった。

広島市の平和行政を支える法律は、**広島市平和記念都市建設法**がある。この法律は、1949(昭和24)年5月に衆参両院でいずれも満場一致で議決され、続いて、憲法第95条による特別法のため、7月7日に賛否を問う住民投票が行われた。投票率は65%だったが、投票者の91%が賛成という圧倒的な支持を得て、8月6日に公布された。

まさしく平和都市建設を熱望する広島市民の思いの表れであった。

ところが、2021年に広島市平和推進基本条例ができた。なぜ今ごろ、このような条例が必要となったのか。市民の関心を集めたのは、平和の定義が矮小化委されたことと、原爆死没者慰霊式並びに平和祈念式(平和記念式典)のあり方を定める第6条である。ここであえて「式典を厳粛の中で行う」としているのだが、これは、式典当日のデモ行進の拡声器によるスローガン連呼を規制しようと意図しようとしている。

FAX でのご注文は

(西日本出版社受注センター)

FAX

06-6310-7057

(TEL: 06-6338-3078)

大阪府吹田市南金田1-11-11-202
HP: <http://www.jimotonohon.com/>

●発行/西日本出版社

書店名(番線)	新刊	「平和都市」 ヒロシマのまがりかど —広島市平和推進基本条例の制定過程を検証する—	注文体数(注文体品)	冊	ご担当
					様
					日付
					冊
		■著者: 宮崎園子 ■判型: 四六判並製 230P ■本体価格: 1,700円			
		大阪府吹田市南金田1-11-11-202 TEL:06-6338-3078 FAX:06-6310-7057			■発売/西日本出版社

書店名(番線)	補充注文	原爆 被爆者の本 「個」のひろしま 被爆者 岡田恵美子の生涯 ■著者: 宮崎園子 ■判型: 四六判並製 256P ■本体価格: 1,500円	注文体数(注文体品)	冊	ご担当	ご希望の 搬入時期 即・新刊と同時
					様	
		特攻隊のノンフィクション 黒島を忘れない ■著者: 小林広司 ■判型: 四六判並製 256P ■本体価格: 1,400円			日付	
					冊	
		大阪府吹田市南金田1-11-11-202 TEL:06-6338-3078 FAX:06-6310-7057				■発売/西日本出版社

チエックがない場合、即搬入となります